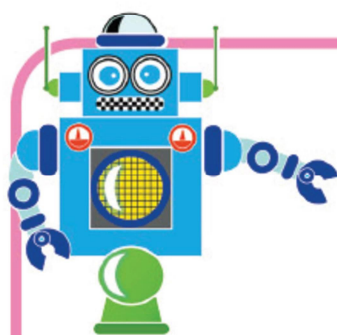


(5) 母神山古墳群



観音寺市総合運動公園のある母神山は、三豊平野のほぼ中央にあり、周囲4kmの丘陵で、三豊平野と瀬戸内海を見渡すことができます。

ここには、かつて70基あまりの古墳があったと伝えられていますが、果樹園や宅地などに開発されて消滅したものもあり、現在では、50基ほどの古墳が確認されています。

その中でも、前方後円墳のひさご塚古墳と、大型円墳のかんす塚古墳は、母神山古墳群を代表する古墳です。



母神山と代表的な古墳

① ひさご塚古墳

観音寺市唯一の前方後円墳



Q1 ひさご塚古墳とは、どんな古墳なの？

A1

6世紀前半につくられた前方後円墳で、全長が約44m、高さ約4mの大きさです。

古墳の周りには、ほりをめぐらしているのが確認されています。

ひさご塚古墳の墳丘模型



Q2 ひさご塚古墳からは、どんなものが出てきたの？

A2

過去の発掘調査で、古墳の後円部のあたりから埴輪の破片や須恵器のかめなどが見つかっています。

それらの資料から、古墳のつくられた時期が分かりました。今後の本格的な発掘調査の結果が楽しみな古墳です。

